



## 『ぽかぽか言葉で、いっぱい为学校にしよう』

校長 岡部 良美

夏休みが終わり、子供たちの元気な姿が学校に戻ってきました。大泉東小学校は、『子供一人ひとりに、誇りと自信をもたせる学校』です。4月、私がお子たちに、1年間『よいところ見つけ名人になろう』という合い言葉を伝え、全員で達成するために取り組んできました。大東小では7月と12月にすべての子供たちを対象として、よりよい授業に繋げる授業評価と、子供のよりよい行動に繋げる意識行動調査を行っています。7月の意識行動調査において次のような結果がでました。

○学校は楽しいですか。	【肯定的回答の合計ポイント】
⇒ すごく楽しい（44%） ・ 楽しい（46%）	【90%】
○先生に褒められたことがありますか。	
⇒ たくさんある（20%） ・ ある（50%）	【70%】
○友達から褒められたことがありますか。	
⇒ たくさんある（27%） ・ ある（44%）	【71%】
○家の人から褒められたことがありますか。	
⇒ たくさんある（50%） ・ ある（34%）	【84%】
○自分のよいところが分かりますか。	
⇒ とても分かる（26%） ・ 分かる（40%）	【66%】

さて、みなさんはこの数値を見て、どう思われるでしょうか。

「思ったより高い（低い）」、「もっと、先生に褒めてほしい」、「友達と仲良くできているのか心配。」「自分のよいところに意外と気付いていない。」・・・など。

「学校が楽しい。」と9割の子供たちが肯定的に回答していることは、とてもうれしいことであり、教職員の力になります。しかし、教師や友達から褒められたことに否定的な経験の回答をした子供が約3割いること、子供一人ひとりが自分のよいところを自覚できていないことは、学校教育として改善すべき点であると考えます。「学校が楽しい。」理由としては、「勉強がわかる・できたから」、「自分で考えて・試してできた、そのことを他のことにつかえたから」、「友達と協力してできたから」、「他の人からありがとうと言われたから」、「新しいことに工夫・挑戦ができたから」など、様々です。しかし、その基盤は、自己理解・他者理解・安心できる環境にあるのではないのでしょうか。

子供一人ひとりは学習面でも生活面でも、多くの人とかがかかわっています。子供たちが自分の考えを出し合い、新しいことに気付き、よさを認め合い、創りだしていく真剣な授業、協力の喜びや自分の成長を実感する運動会や展覧会などをおして、2学期に子供たちが取り組む合い言葉、『ぽかぽか言葉で、いっぱい为学校にしよう』の実現に努めていきます。

### ○【校舎等全面改築工事の情報】

新体育館は外壁工事の仕上げを行っています。屋根もすっかりでき上がりました。新南校舎（教室棟）の土台基礎工事が終わり、柱となる鉄筋の工事が順調に進んでいます。